

第1専門委員会 第2回(8月28日)配付

資料6

県立学校課 平成18年8月

総合学科について

1 総合学科創設のねらい(文部科学省ホームページから)

総合学科は、一人一人の生徒の個性を尊重した教育を推進する観点から、普通科における就職希望者や専門学科における進学希望者への対応が不十分になっているなどの問題を踏まえ、これまでの普通科と専門学科の2学科の区分を見直し、生徒の学習の選択幅を拡大することができるよう、普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科として創設された。

2 本県における総合学科設置の趣旨

本県では、これまで職業学科の再編成や特色ある学科・コースを設置し、生徒の希望等に対応した魅力ある学校づくりを進めてきた。このような学科再編等は、中学校卒業時に明確な目的意識を持って進学先を決定する生徒にとっては、学科の選択幅が広がるなどの教育条件の向上が図られてきた。

一方、多くの生徒に進路決定の先送り傾向や進路希望の多様化が見られ、これら生徒に対する教育の在り方が課題となっている。

これら多様化している高校生の進路希望等に対応するためには、従来の普通科や職業学科の枠組みの中では個々の生徒の実態に応じた教育が適切に行われない恐れがあるため、個に応じた選択学習により自己の将来の生き方や進路に関する自覚を深めること等を目的とする新たな学科「総合学科」を設置し、本県高等学校教育の一層の活性化を図るものである。

3 本県における設置後の総合学科に対する課題

- (1) 現実的には、全ての生徒の希望に対応した学科を開設することは極めて困難である。また、特に大学等への進学に関して言えば、進学に対応する科目と就職に対応する科目を並行して履修するため、履修科目に限界があり、普通科に比べて不利な面が生じることあり、かえって生徒にとって選択の幅を少なくしている可能性がある。
- (2) 柔軟な科目履修が可能である、ということが総合学科の最たる魅力であるが、進路意識が乏しい生徒は、どの科目を履修して良いかわからなくなる場合がある。一方、低学年時に履修科目を決定してしまい、その後の進路変更が難しくなることがある。

4 本県における総合学科の設置状況

年度	高校名	系 列
8	七 戸	人文科学、自然科学、情報ビジネス、食品科学、福祉健康
11	尾上総合	エコロジー(環境工学)、地域文化、マルチメディア、人文科学
14	大 湊	人文科学、自然科学、介護福祉、情報表現、スポーツ
15	青森中央	人文科学、自然科学、健康福祉、生活科学、リビングデザイン、情報ビジネス、文化観光
	木 造	人文科学、自然科学、人間・福祉、社会・経済、流通ビジネス、情報システム
17	深 浦	人文社会、流通ビジネス